

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-190	22-015	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
題名（原題／訳）		
Molecular Alterations Caused by Alcohol Consumption in the UK Biobank: A Mendelian Randomisation Study UK バイオバンクにおける分子変化による飲酒への影響：メンデルランダム化研究		
執筆者		
O'Farrell F, Jiang X, Aljifri S, Pazoki R.		
掲載誌		
Nutrients. 2022 Jul 19;14(14):2943. doi: 10.3390/nu14142943.		
キーワード	PMID	
メンデルランダム化、飲酒、UK バイオバンク、フェノムワイド関連分析	35889900	
要 旨		
目的： 飲酒による各種疾患発症のメカニズムは解明されていない。各種疾患へのアルコールの影響に介在する表現型（phenotype）を同定するための検討を行った。		
方法： UK バイオバンクの 22 万人からの 7800 の表現型と飲酒（各種飲料）との agonistic 関連分析を行った。さらに、飲酒を暴露要因、飲酒を媒介因子とする因果における表現型、アウトカムとしての各種疾患との間のフェノムワイド関連分析、媒介分析を行った。		
結果： 飲酒との関連における 45 の表現型の中で、20 の表現型は飲酒との因果関係を認めた。GGT、平均赤血球体積、平均赤血球ヘモグロビン濃度は、最も強い因果関係を示した。GGT、身体不活動は、飲酒、肝硬変、アルコール依存の間の経路の媒介因子であった。		
結論： 飲酒と 20 の表現型との間の因果関係が示され、また、飲酒による健康影響に身体活動が媒介効果を認めた。		